



抜け出して適当観へ
向かっているところ

丸二日で脱走か、兵士？

大佐！

ふふっ、イゾルデと呼んでも構わん

どうされたんですか？

プロキシ君の時間を、少し借用したいのだが

？



ふふっ、何だ。単なる暇つぶしだよ



イズルデさん、これは一体！？

む、



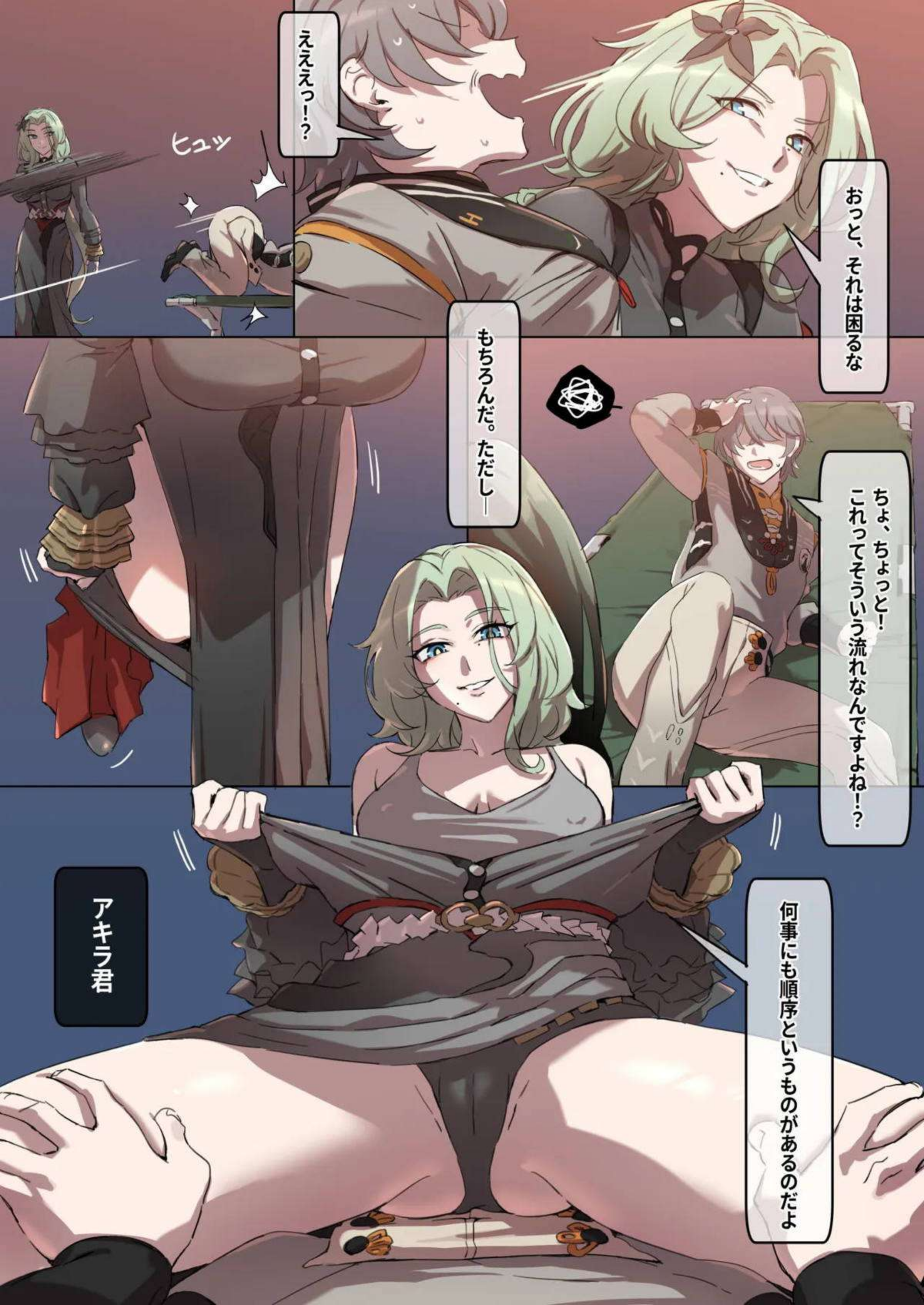
ふふ、遠慮せず触っても構わん

むぐっ……

やれやれ…



イズルデさん！



おっと、それは困るな

もちろんだ。ただし――

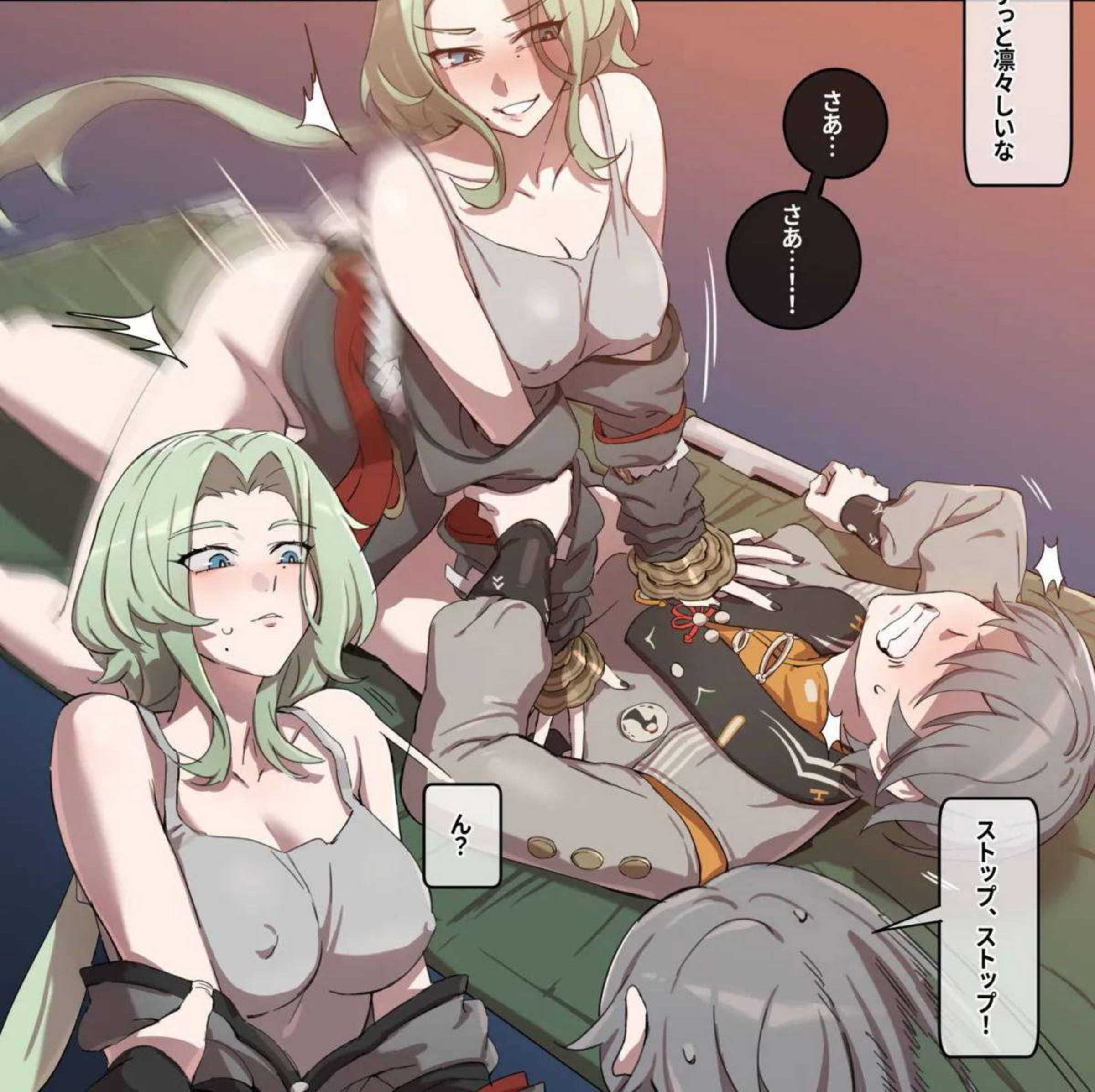
ちょ、ちょっと！
これってそういう流れなんですよね！？

何事にも順序というものがあるのだよ

アキラ君

えええっ！？

ヒュッ





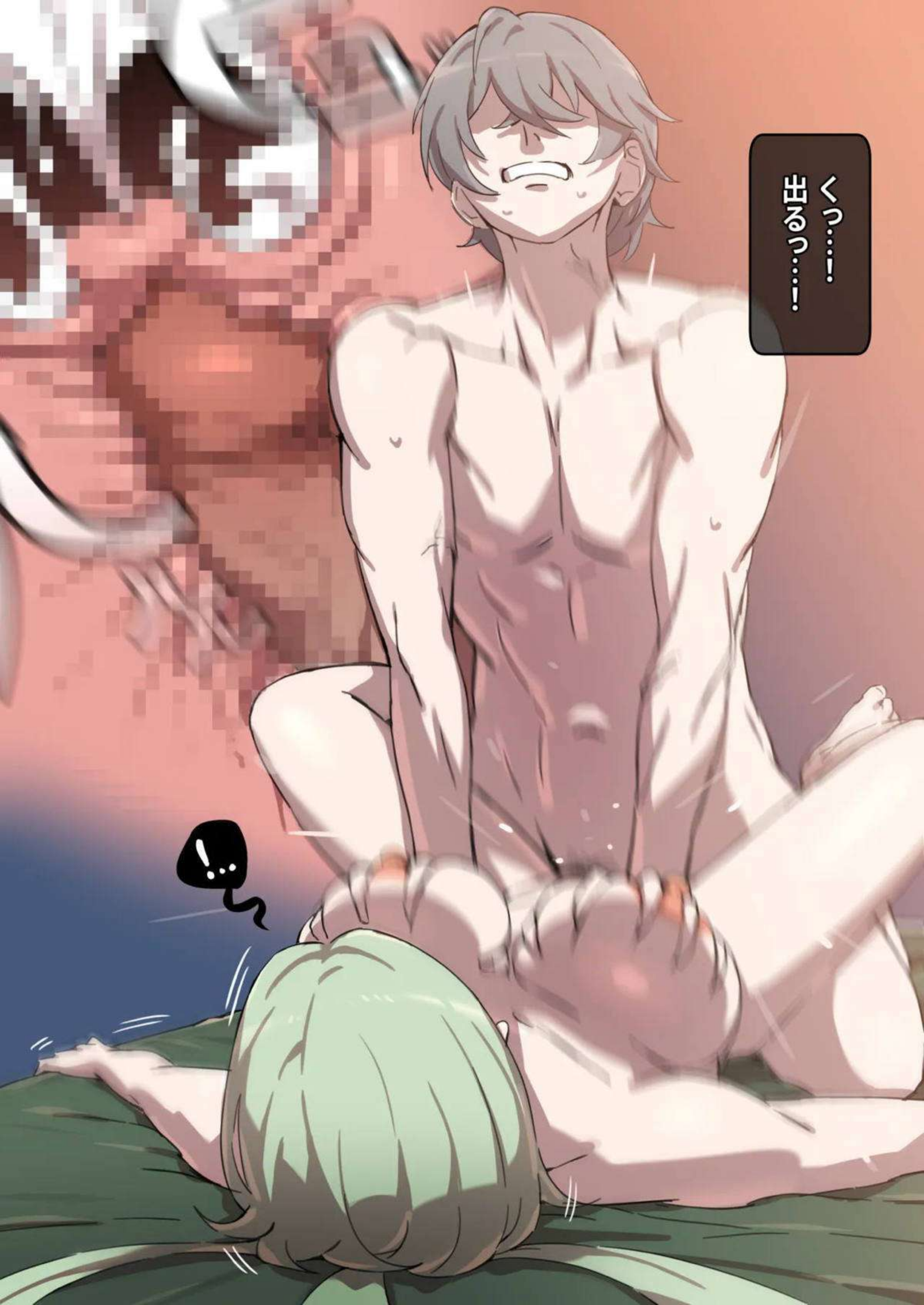
すみません、すぐにしそうだったので…

あ、はい、はい



いくら私でも、
これはさすがにちょっと恥ずかしいな





.....うん
うん.....

!



はあ…

はあ…

ふふっ、ご苦労。



…?



起きたか。

準備が整ったらずぐに出て
みんなに姿を見せたほうがいいだろう



その花飾りは…
毎回つけている理由でもあるんですか？

ふふっ、



すぐにわかるさ、「主人公」くん。

プロキシ君、どこにいるの…？

あ…

















